



# かえで



編集 社会福祉法人江東楓の会  
発行所 江東区東砂6-2-14-3F

編集責任者 理事長 伊藤 善彦  
TEL 5617-3750 FAX 5617-3752

副理事長あいさつ

社会福祉法人江東楓の会 副理事長 宮内 洋

早いもので師走を迎えましたが、今年はコロナに何もかもが振り回される年となってしまいました。コロナは終息どころか再び勢いを増してきており、未だに外出自粛や感染予防など先の見えない不安な日々を過ごされている方も多いことと思います。当法人としましても、安心して事業所の利用ができるよう、長期戦を前提とし職員の感染予防に対する意識の継続や感染予防対策の再徹底を図れるよう日々取り組んでいるところです。

すでにご承知のことかと存じますが、令和3年度より（社福）江東楓の会が江東区の指定管理施設『江東区あすなろ作業所』を運営することが決定いたしました。

また、江東区あすなろ作業所の運営を引き継ぐための準備室も11月から始動したところです。これに伴い、新年度に向けて法人全体で活発な人事異動が行われます。コロナ禍で社会全体が沈んだ雰囲気となっていますが、各事業所ともサービス提供が滞らないようにするのはもちろんの事、同時に各事業所に新たな風を取り込み法人全体でさらなる飛躍を目指していきたいと考えております。

一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、  
会員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。





## 「モニタリングについて」～モニタリングの意味と視点～

江東区亀戸福祉園 支援員 埴谷 孝行

自分が亀戸福祉園で働き始めてあっという間にもうすぐ二年が経ちますが今回はモニタリングについて少し話したいと思います。今年で2回目のモニタリングになりましたが、1年目は分からない事が多く、先輩職員に教えていただきながら行ないました。2年目の今年は少しずつ理解してきましたが、日々の支援に繋げる事の難しさを感じた年になりました。

モニタリングとは、個別支援計画を基に年間を通した支援提供、評価を行い次年度の計画書の作成をします。モニタリングでは上半期（6ヶ月間）の支援を振り返り、評価を行う中間見直しにあたります。評価では、上半期に行った支援が個別支援計画の目標とズレがないか、行った支援の効果（成功した支援、上手くいかなかった支援）を本人に対し適切な支援を行なう事が出来ているかという視点を持ち具体的に下半期の支援の方向性を決めて確認し支援員での共有を行っています。

コロナウィルス感染症もまだまだ油断出来ない状況で大変な1年となっています。そして年度末評価も始まります。支援員としての自覚を持ち体調管理はもちろん精神的にも安定させて、適切な支援を心がけていきたいと思います。そして、これからも一人の社会人として初心を忘れず日々向き合っていきたいと思います。



## 「コロナ禍における就労支援」

ワークセンターつばさ 支援員 三上 友芽

紅葉も進み、少しずつ秋から冬の空気へと変化が見られ始め、より一層体調に気を付けなければならない季節になってきました。

今年4月コロナ禍の中、感染症対策をしながら就労活動を行い、就労継続支援B型を利用されていた方、1名が就職され、現在つばさでは、1名の方が就労移行支援を利用されています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、求人情報が少なく、合同での面談会や企業実習等も実施されない状況が続いていました。緊急事態宣言が明け、夏頃から少しずつ求人情報が入り始め、最近では合同での面談会や企業実習の受け入れも実施され始めました。面談会の再開に伴い、申し込みが殺到し、つばさでは申し込み手続きを行う際、複数台のパソコンでログインをしながら、エントリーを始める就労活動に取り組んできました。

また、例年とは異なり、パソコン上での面接や説明会が行われるようになってきました。

一般就労を目指している方は、この期間なかなか具体的な話が出来ない状況に、気持ちが落ち着かなかったかと思います。面接は行うが、実習は難しいという企業もあり、実際の業務内容や職場の雰囲気が分からず、不安を抱え、先行きの見えない状況にモチベーションを維持する事も困難な日が続きました。

つばさから一般就労されたOBの方々も、それぞれ1日のおきの出勤や短時間勤務等、普段とは異なる勤務形態に戸惑いながらも、感染症対策を行い、頑張って出勤されていました。

今後も日々変わっていく状況ではありますが、一緒に話し合いながら、B型、移行問わず、就労を目指している方と小さな一歩を進めていければと思います。



「受注作業について」～どんな作業を行っているの?～

第三あすなろ作業所 支援員 宇田川 知幸

三月から第三あすなろ作業所で働かせていただくことになり、今年は様々なお仕事に関わらせていただきました。作業所ではどのような作業を行っているか。入職当初は私自身、具体的なイメージは持っていませんでした。実際に行っている作業の一例を挙げると、私たちが日常のお買い物で目にする商品に関わる作業や、河川敷のゴミ拾い、チラシや郵便物を封筒に差し込む等…多種多様なお仕事を行っています。

この一年は全体的な作業量が減少している事など、作業所にも新型コロナウイルスの影響は及んでいます。その中で今年の流行が最も反映されていたのが、マスクに関わるお仕事だったと思います。表裏の向きを揃えて袋に詰めたり、実際に店頭で並ぶ形の外箱を組み立てたりと、4月～6月頃にかけては作業部屋に大量のマスクの箱や段ボールが置かれていました。特にマスクの外箱の組み立てはご利用者のウケが良かったのか、皆さんが休むことなく次々と作業を仕上げていく姿が印象に残っています。自分で作った箱が綺麗に並び、作業机が埋め尽くされていく様子に、ノルマをこなしたという達成感を感じられたのではないかと思います。

受注作業では、どの作業においてもご利用者が仕上げてくれたものを良品として受け取るか、やり直しをお願いするか判断に迷うことがあります。やり直しと言われると気落ちしてしまうご利用者もいらっしゃいますが、「実際にその商品を受け取った方がどう思うか?」といった点が最終的な判断基準になります。作業所でのお仕事を通じて、達成感だけでなく、失敗してもめげずにチャレンジしていく場を体験していただけたらと思います。

## 「第三者評価について」～第三者評価の内容？どう生かされているの？～

若竹作業所 支援係長 竹田 祐樹

東京都では、福祉サービス向上を目指して、3年に1回以上は受審することが定められています。今年度、若竹作業所は第三者評価受審しました。第三者評価は、若竹作業所のサービスの質の向上に向けた取り組みの一つになっています。評価機関の方に第三者から見た若竹作業所を職員の事業所の自己評価、利用者アンケート調査、現場の確認や職員のヒアリングを通して、サービス内容や組織運営について評価していただきます。評価結果については、インターネットサイト「東京ナビゲーション」で公表されます。利用者、ご家族の皆様は、公表された結果が事業所選びの参考の一つとなります。私自身は若竹作業所では初めての第三者評価の受審で、異動してきて半年というところでは、改めて「若竹作業所」を違う視点で見る、いい機会となりました。

利用者の方が第三者評価の方と直接話をする調査では、若竹作業所の皆様はとても協力的で「私も」とたくさんの方が手を挙げてくれました。順番で話をする中でも、話が終わると「〇〇さん順番」とこちらの声掛けもなく連携して進めてくれました。そんな場面でも、若竹作業所の良いところ「団結力」を感じる一面でした。

若竹作業所の良いところを継承しつつ、より良い施設づくりができるよう努めていきたいと思います。



## 「自主生産品PR」～おすすめ商品など、どう作っているの？～

高齢障害者通所施設さくら 支援員 出村 吉伸

いつもお世話になっております。今回の原稿の作成に当たり、自主生産品PRというテーマをいただきましたのでそちらに倣い書かせていただきます。

自分が勤めているさくら分室の自主生産品はパンですが、メインで作っているパン生地は3種類あるのを、皆様ご存じでしょうか。

5色パンやカレーパンに使う『菓子生地』

カスクートに使う『イギリス生地』

カツサンドに使う食パンの『食パン生地』があるのですが、全て毎日手作りで行っております。



利用者さんに生地作りの粉を計量してもらう事もあったり、一部のパンは成型していただいたり、カツサンドを作る際は食パン、カツのカットをしていただいたり、出来上がったパンを袋に入れていただいたりと色々な仕事に参加して下さっています。

クッキーも作っているのですが、クッキー作りは調理器具の準備、粉の準備、計量、生地作りまでの全ての工程を利用者さん達メインで行っていただいています。またクッキーの作り方を後輩に教えてくださっているのも利用者さん達です。

そんなさくら分室の商品は『るーくる』で販売しております。見かけましたら、ぜひお手にとっていただくと自分たちさくら(利用者さん・職員含め)『分室スタッフ』一同嬉しく思います。



「近況報告」

江東区リバーハウス東砂 支援員 山上 健太

再びコロナの感染が拡大して、まだまだ不安が続く状況ですが、今年も早いもので、残り1ヵ月となりました。

グループホームについては、利用されている方は、今年で3年目を迎えます。本来、次の生活に向けて、移行の時期でしたが、コロナの影響により、対応が進めづらい状況となっておりますが、関係機関との連携を大切に、グループホームの利用者一人一人が、安心して移行が行えるように引き続き関係機関と協力していきたいと思っております。

ショートステイについては、多くの方々が利用をされていますが、コロナの状況によっては、ご家庭の判断でキャンセルされる方もいらっしゃると思います。

また、感染症対策として、大人数での接触をさけるためグループホームと短期入所でフロアを分けて利用して頂いています。

食事においても密にならないように、場所を変える工夫、間仕切りの利用、場合によっては、時間差をつけて提供しています。また、小さなテーブルを用意して、居室でも食べていただけるように対応を行っています。

コロナ禍の中で大変な時ですが、皆さんが、安心して過ごしていただけるように、感染防止に引き続き気をつけていきたいと思っております。

## 「コロナ禍における対策について」

楓の会ヘルパーセンター 職員 萩原 洋

楓の会ヘルパーセンターは、緊急事態宣言下では自粛を余儀なくされて、対応を職員間で話し合い、外出を伴う支援以外で必要不可欠な支援は継続してまいりました。宣言解除後は送迎や通院等を再開し、外出も三密にならないよう、ソーシャルディスタンスの徹底やマスクの着用、毎日の体調確認等をヘルパーへお願いし、施設等利用の条件を具体的に設けて支援を再開しました。

その後も社会情勢を見ながら、条件を変更し支援を継続してまいりました。現在も利用者並びにヘルパーには大変な苦勞をお掛けしていますが、皆様にご理解いただき支援提供ができたことは感謝の気持ちでいっぱいです。今後も利用者が安心してサービスを利用できるよう、ヘルパー・職員一丸となって取り組んでまいりたいと思います。

皆様におかれましても、体調にお気を付けてお過ごし下さい。  
今後とも楓の会ヘルパーセンターをよろしく願いいたします。



## 「今年度の振り返り」

共同生活援助かえで 管理者 仲俣 圭

今年度を振り返ると、最も大きな話題は間違いなく“コロナ”に尽きるのではないのでしょうか…と思います。しかしながら、かえででは、『ユニットかえでプラス・祝！1周年！！』と思っています。

相変わらず細かい“あれやこれや”はいくつかありましたが、全体的に大きなトラブルもなく1年を過ごせたと思います。コロナ渦の中、あまり大々的にはできませんでしたが、おいしい食事とケーキでささやかながらも一周年をお祝いしました。また、寒い、寒い冬や暑い、暑い夏をどうやってやり過ごすか…。とても心配しましたが、プラスの利用者も自分の生活をどうにかこうにか組み立て、試行錯誤しながら過ごしていました。

さてさてユニットかえでや第二かえでの諸先輩達は、最長利用者は15年目を迎えます。皆さま落ち着いたものです。15年目を迎えようとも、相変わらず細かい“あれやこれや”はいくつか（いくつも？）あり、賑やかな日々を送っていました。

利用者皆、コロナコロナでなかなか不便な生活を強いられている中でも、たくましく過ごしています。世話人一同、これからも継続して安全で健康な生活を安定して送れるよう支援をしていきたいと思っています。



## 令和2年度 後援会会員名簿

### <賛助会員> (第43号からつづく)

伊藤 小夜子	佐々木 優子	掛川 善至	小高 郁乃	高橋 淳子
品田 友香	佐藤 えりか	片桐 謙一	小宮 聡子	千葉 利恵
梅内 千佳夫	瀬尾 かおる	門井 千代子	斉藤 誠	得重 篤史
武田 俊彦	高田 和美	神子沢 菜月	齋藤 沙友里	得重 博史
萩原 洋	高橋 絵里	木ノ村 京子	齋藤 由香	永山 勝孝
大野 誉仁	中島 美香	倉田 久美	桜井 千鶴子	藤山 和未
佐々木 緑	長瀬 亮一	小玉 睦子	佐藤 奈津子	森野 博之
阿部 秀和	仲宗根 浩介	佐久間 勉	鹿間 勝	大須賀 宣恵
伊藤 涼子	中山 晴貴	佐藤 史仁	柴井 勝也	小桜 勲
加藤 リツ子	仁井田 和幸	茂野 勝信	嶋田 知詠子	宮岡 友美
駒崎 桂一	長谷 雅子	下尾 剛	杉本 佑生	村上 龍
斉藤 良子	平山 信子	杉山 登久子	鈴木 一生	八木 友香
柴原 弘子	藤野 翼	鈴木 康之	鈴木 香希	山口 彩
積田 礼子	古河 宏太郎	高橋 昭彦	高橋 愛美	山口 富美子
中島 増夫	古河 大輔	竹田 祐樹	武田 昌和	吉沢 裕樹
中邨 敏子	政木 昌子	田中 啓之	田沼 瑞季	米川 直輝
成田 敦子	丸山 裕輔	千葉 裕子	寺崎 貴子	渡部 博信
平原 稔	宗 久美子	富樫 友春	中川 萌	川端 美喜雄
文屋 美佐子	宗 菜摘	戸田 明宏	中川 健造	林原 美穂
山口 益弘	村佐 匡平	中島 清美	永島 真由美	若井 一郎
脇田 芳子	村田 茂儀	中野 和広	難波 千尋	小倉 成子
石毛 貴子	山中 修司	中野 健一	沼尾 麻美	諸橋 章子
石田 強史	亘 則光	中山 達也	橋本 知佳	尾種 健一郎
臼杵 宏子	八島 美佐子	名古屋 敬太	橋本 春美	瀧本 正一郎
臼倉 幸夫	池田 顕思郎	沼田 雅晴	長谷川 俊	庄司 京美
小田 一枝	田中 匡堯	林 毅彦	埴谷 孝行	高橋 久美子
鈴木 真澄	渡辺 恭史	原 未来	早川 久美子	青地 美知子
全 将貴	植村 健一	百田 美帆	針ヶ谷 清子	安達 芳正
全 真和	松淵 秀美	福家 美奈子	半田 力也	甘利 英子
水野 富一郎	会田 直子	町田高宏	平野 智寛	有馬 裕美
小平 亜弓	明石 大介	松井和弘	平山 史弥	有馬 明美
赤間 典子	安藤 修	松崎泰典	廣瀬 真衣	石井 惇也
桑島 直之	池田 夢夏	三村孝二	福水 翔介	内田 善雄
佐藤 充宏	石川 信彦	宮内 洋	星屋 真理子	亀井 洋子
神内 梓	伊藤 和子	明 俊良	増田 一磨	坂 博
鷹木 清光	伊藤 純子	森 せい子	榊満 美希	相楽 由里子
田宮 聡子	伊藤 隆行	森 喜美	松島 かおり	政司 美佐子
出村 吉伸	片上 友美	山崎 結子	峯尾 豪	山田 彰代

大場 恵利	三枝 朋子	星野 昭代	菊地 賢志	梅澤 崇
水谷 有子	国本 靖子	星野 麻由美	夏梅 照子	太田 千賀
尾戸 千尋	小林 志郎	三上 友芽	宮本 直起	大野 真実
安里 修	蔡 徳昇	若山 真人	明石 真理子	奥野 太一
新井 洋子	島田 由美子	秋庭 敏宏	赤津 正徳	陰山 香苗
新田 真由美	菅谷 栄二	安藤 さゆり	阿部 勝	金子 晃久
磯田 洋	杉山 清人	池山 遼一	新井 康介	金子 範江
伊藤 純一	鈴木 正典	井沢 元樹	安藤 美佐子	河内 涼士
伊藤 善彦	高月 のぞみ	井上 貴史	石井 公子	川澄 花代
今井 達也	高橋 真理子	岩橋 稔	石井 潤一朗	輿水 康弘
今井 千夏	竹田 理恵	岩橋 幸子	和泉 佑佳	大塚 伸一
上原 結花	中村 清夏	及川 忠	伊能 ひかり	奥田 千香子
宇田川 知幸	中村 雄斗	岡倉 守男	岩間 頌子	小原 直人
遠藤 仁美	野呂 健太	山田 修司	上田 晃	川口 晃洋
及川 英子	濱谷 美幸	山本 年成	上野 順子	岸本 大輔
北原 正晴	工藤 紀之	熊倉 アイ子	小島 みゆき	

(敬称略、順不同)

(なお、令和 2年 12月 7日以降 賛助会員は次号につづく)



## 編集後記

会員の皆様には、日ごろから当法人の運営とご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。今号におきましては、各施設・事業所から、様々なテーマでご報告させていただきました。今もなお「新型コロナウイルス感染症」が猛威を振るっています。引き続き最前線で予防をしてくださっている医療従事者の方、関係する機関の方への感謝と私たちにできることを継続して行っていくことで少しでも終息に向かうことを願うばかりです。前号にも後記しましたが、こんな状況の中でも、心が和んだり安らいだりできることをみつけて、皆さんが健康で年を越せることを願っております。

